

熊本県天草市天草町大江。この地は、かつて崎津や今富などとともに、天草島原の乱で全滅したと思われるいたキリシタンが160年余りを経て多数発見されたかくれキリシタンの里です。1587年にキリシタン禁教令が配布されて以来、明治時代に禁制が解かれるまで、厳しい弾圧に耐え忍びながらもおよそ300年間、この地の信者たちは人知れず信仰の火を守り続けたのです。また、キリシタン解禁後、道田嘉吉らにより、この地に天主堂（旧大江天主堂）が建てられ、キリシタン復活の中心地となりました。さらに、昭和7年には天草への伝道に生涯を捧げたガルニエ神父が私財を投じて白亜の天主堂（現大江天主堂）を建立し、現在でも大江の人々の信仰の地となっています。

キリシタン資料館『天草ロザリオ館』は、こうした天草キリシタンに関わる貴重な品々を集めた資料館です。永禄年間から始まる天草キリシタンたちの生活や文化を如実に物語る遺品（県指定文化財）を数多く展示しています。当館に展示した一つの遺品、一つの伝説から、改めて天草におけるキリシタンの役割や日本史におけるキリシタン文化の重要性などを感じとっていただければ幸いです。

ロザリオ館概要



●天草観光メモ

当館の付近には、「大江教会」や「ルルドの聖母」、「崎津教会」など、キリシタンにゆかりの場所が数多くあります。キリシタンルートとしてお訪ねください。また、北へ足を伸ばすと、落陽が美しい『鬼海ヶ浦』や『藍の岬』など、自然の名所も多く、詩の島天草ならではの絶景をお楽しみいただけます。お泊まりには、新鮮な魚介類でおもてなする下田温泉をご利用ください。



天草くずれ

文化2年(1805)天草西筋四ヶ村の隠れキリシタン発覚事件を天草くずれと呼びます。五千余の隠れキリシタン検挙の実態を紹介したものです。



正徳の高札

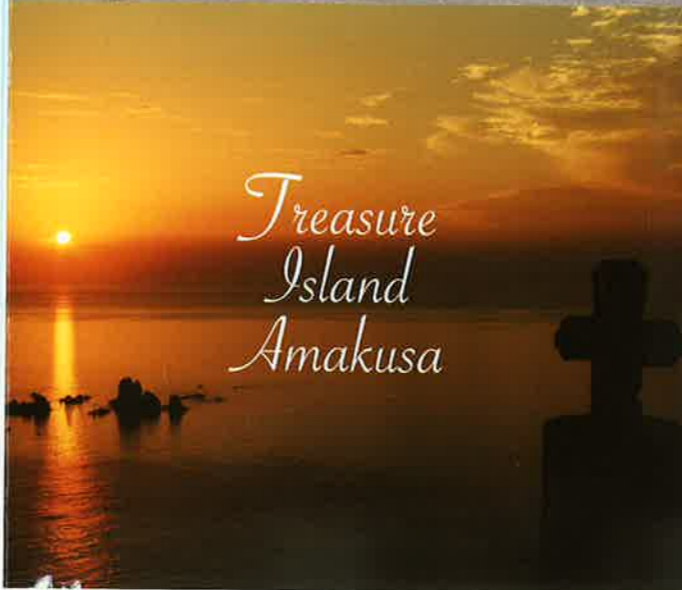
高札

高札は法令、禁令など板札に墨書きし、町村辻など人目につきやすい場所に掲示したものです。



踏絵と宗門改絵踏帳【県指定文化財】

本来、踏絵の目的はキリシタン検索の取り調べ方法として採用し、そのあと、踏絵帳に記される。宗門改踏絵帳は戸籍台帳でもあります。



キリシタン資料館 天草市立 天草ロザリオ館 Amakusa Rosary Museum



当館へのご来館はお車便利です。

熊本県天草市天草町大江 1749 番地

☎ 0969(42)5259

FAX 0969(42)5285

入館料 ※税込

大人 300円・高校生 200円・小中学生 150円

団体(20名様以上)は2割引

開館時間

午前 8:30 から午後 5:00 まで

休館日

水曜日(祝日の場合はその翌日)